

カリキュラム・マップ (先端科学技術専攻)

ディプロマ・ポリシー (修得すべき能力)		カリキュラム・ポリシー (講義)	カリキュラム・ポリシー (研究室教育)		
M	1	専門分野における先端科学技術の基礎概念を理解する能力	他分野出身者及び入門者向け科目 (導入科目)、大学院としての基礎科目 (基幹科目)、高度な専門科目 (展開科目) 及び発展的・先端的な専門科目 (発展科目、先端科目) から構成される階層的かつ体系的な講義群を、日本語又は英語により開講する。	研究室教育を通じて、先端科学技術分野の基礎概念の理解を深化させる。 学生の資質や学修目標を勘案し、目標の達成度を管理しつつ、多様で自由度の高い研究室教育を行う。	
D	7	専門分野における先端科学技術の理論や体系を幅広く理解する能力			
M	2	専門知識を応用して問題発見や問題解決できる能力	専門知識を理解して活用できる能力の修得を、各講義の達成目標として定める。 能動的学修方法を積極的に取り入れる。 主に試験による厳密な成績評価を行う。	個別指導、少人数教育、協調的学修などを通じて、専門知識を応用して問題発見・問題解決できる能力を修得させる。 専門分野の異なる複数の指導教員を置き、異なる視点からの研究指導・評価が受けられるようにする。	
M	3	学術的、社会的に価値ある研究を主体的に遂行できる能力	情報科学と知識科学の基礎と方法論を活用しつつグループにより研究を進める能力及び自らのレベルアップを図る能力を修得させる。	関連研究の調査を踏まえた研究計画の立案、修得した専門知識・スキルを活用した研究の実施、結果の考察、成果発表に至る一連の研究プロセスに必要な能力を修得させる。	
D	8	学術的に新規性、独創性のある研究を立案、遂行し、世界的に通用する研究業績をあげる能力			
M	4	専門とは異なる分野や未踏分野に挑戦できる能力	教養科目、他分野科目などの積極的な履修を推奨する。	専攻分野に隣接若しくは関連する分野の研究課題又はインターンシップを課し、異なる分野・環境において研究を進める能力を修得させる。 専門とは異なる分野や産業界の視点から指導を受ける機会を設ける。 博士後期課程においては、ティーチングアシスタント (TA) 及びリサーチアシスタント (RA) の機会を通じて、リーダーシップを発揮できる能力の向上を図る。	
D	9	俯瞰的な視野を持ち、先端科学技術分野においてリーダーシップを発揮できる能力			
M	5	多様な文化に対する理解力、コミュニケーション能力			目標・経歴・国籍などの多様性に富む研究室環境において、多様な文化に対する理解力とコミュニケーション能力の向上を図る。
M	6	研究者、技術者としての高い倫理観			研究活動を通じて、社会に対する自らの責任を理解し、研究者・技術者としての高い倫理観を養う。

※ 修得すべき能力：【博士前期課程】 M、【博士後期課程】 M+D (D7・D8はそれぞれM1・M3を包含)

		必修A科目	必修B科目	選択科目	ディプロマ・ポリシー (修得すべき能力)										
					1	2	3	4	5	6	7	8	9		
M	学術科目			Gxxx科目					★						修士 (マテリ) アルサイエンス (情報知識)
	広域科目		S101 人間カインノベーション論	Lxxx科目 主に取得を目指す学位以外の科目				★	★	★					
	導入科目		S102 創出カインノベーション論	主に100番台科目	★			★	★						
	基幹科目	S201 科学技術研究論文 S202 科学技術課題研究 S203 科学技術博士研究計画調査		主に200~600番台科目	★	★	★	★	★	★					
	展開科目	S401 科学技術副テーマ研究 (選択必修) S402 科学技術インターンシップ (選択必修)		主に400~600番台科目 主に取得を目指す学位以外の科目				★							
D	発展科目	S501 先端科学技術副テーマ研究 (選択必修) S502 先端科学技術インターンシップ (選択必修) S503 人間力・創出カインノベーション論		主に200~500番台科目 主に取得を目指す学位以外の200番台科目				★	★					★	
	先端科目	S601 先端科学技術研究論文		主に600番台科目		★			★	★	★	★	★		

先端科学技術の確かな専門性とともに、幅広い視野や高い自主性、

修士 (マテリ) アルサイエンス (情報知識)

博士 (マテリ) アルサイエンス (情報知識)